

## いよいよ正念場の2008年

### ——温暖化対策待ったなし

理事長 長谷川公一



新年明けましておめでとうございます。21世紀もいつのまにか、2008年になってしまいました。平成20年。昭和から年号が切り替わって、あっという間に20年が経ってしまったと、やや<sup>あせ</sup>唖然とする思いです。この4月からは、平成生まれの方たちが本格的に大学に入学してきます。いつのまにか、昭和も遠くなってしまうように。

新年を迎える会員のみなさんの思いはさまざまですが、環境問題という観点からは、2008年は何と云っても、京都議定書の第1約束期間の始まりの年です。90年比、6%削減という約束の履行が迫られるスタートの年です（2012年までの5年間の平均で、6%削減しなければなりません）。温暖化対策を主要議題とする洞爺湖サミットが7月に開かれる年でもあります。地球温暖化対策待ったなしの年なのです。

1993年に設立されたMELONは、ちょうど満15年を迎えることとなります。この15年の間に、ややもすれば小さな特殊な問題と思われていた環境問題は、どんどん政治の表舞台に登場し、いまや近未来の地球の運命を左右する大きな課題として浮かび上がってまいりました。国際舞

台では、環境問題を語れない政治家は相手にされない時代です。ゴア元副大統領

のノーベル平和賞の受賞は象徴的です。企業も、学校も、地域社会も、いろいろな団体も、環境問題に対する意識が問われています。

宮城県という地域社会の中でのMELONの役割、活動への期待は、着実に大きくなってきています。プロスポーツ会場でのごみ減量プロジェクト（エコシティ仙台プロデュースプロジェクト）やストップ温暖化センターみやぎの活動などは、全国的にも高い評価と反響を得ています。エコdeスマイルコンテスト in みやぎも、県内でも全国的にも大きな反響をよびました。

環境NGOの活動は、いうまでもなく、会員おひとりおひとりの物心両面での支えあっているものです。2008年は環境問題にとって正念場の年です。例年以上に温かく力強いお力添えをお願いいたします。

#### \*\*\* Index \*\*\*

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| P2-3. 07MELONエコプロジェクト<br>杜のともしび LIVE                 | P6. 市民講座 身近な温暖化               |
| P4. 環境フォーラム<br>シリーズ かんきょう読み聞かせ                       | P7. ストップ温暖化センターみやぎ「通信」        |
| P5. MELON 協力団体の情報コーナー<br>MELON20周年を目指せ！<br>50人リレートーク | P8. MELON活動日誌<br>会員状況<br>編集後記 |